



Muribushi 群星 第404号

沖縄復帰50周年記念特集号

Contents 目次

プロローグ

写真で振り返る沖縄総合事務局の歩み ……01

特集1

沖縄県経済の概況 ……06

特集2

沖縄総合事務局 50年のあゆみ

社会資本の整備について

水資源開発	10
港湾整備	12
空港整備	14
公園整備	16
官庁营造	18
道路整備	20
農業基盤整備等	25

産業振興

農林水産業の振興	28
沖縄の経済産業の振興	33
観光振興	38

県民の足の確保と充実

公共交通(陸上交通・海上交通)	40
自動車の検査と登録	42

コラム

グラフで見る 沖縄振興の成果と課題	43
----------------------	----

地域振興等

駐留軍用地跡地利用の促進	44
国有財産の最適利用(エリアマネジメント)による地域連携の推進	46
地方公共団体向け財政融資	47
公正取引	48

ご挨拶

いつも局報「群星」をご愛読いただきありがとうございます。

沖縄総合事務局広報誌第1号が発行されたのは、昭和48年4月15日、本土に復帰して約1年後の頃でした。発刊にあたり、当時の吉岡邦夫局長は、「局報には局の仕事の紹介、進行の経過を掲載するとともに職員にも投稿してもらい、総合事務局全体の心のつながりの綱として利用していきたい」と述べています。

以来、その想いを引き継ぎ、「群星」は本号で404号を数えます。これまでの局報を読み返してみると、沖縄総合事務局の歩み、沖縄の復帰後の振興開発の歴史を知る大きな手掛かりになっています。

振り返れば、この50年、多くの出来事がありました。昭和47年のドル経済から円経済への移行、昭和49年の福地ダム完成、昭和50年の沖縄国際海洋博覧会開催、昭和53年の道路交通方法の変更、平成4年の首里城公園開園、平成5年のウリミバエの根絶、平成12年の九州・沖縄サミット首脳会合、平成14年の沖縄美ら海水族館開園、令和2年の那覇空港第二滑走路供用開始など、幾多の出来事がありました。

常に新しい課題に直面しながらも、5次にわたる振興計画に基づく施策の推進と県民の不断の努力が相まって、沖縄の経済社会は着実に発展してまいりました。

沖縄総合事務局は、この50年間の成果を基礎として、沖縄の発展のため職員一同一丸となって、一層の努力を続けてまいりますので、県民の皆様の変わらぬ御支援をお願い申し上げます。



内閣府沖縄総合事務局長
田中 愛智朗

上段左：沖縄国際海洋博覧会(那覇市歴史博物館所蔵)

上段中央：サトウキビ畑を視察する山中貞則総務長官(沖縄県立歴史博物館所蔵)

上段右：給水の列に並ぶ市民(沖縄県立歴史博物館所蔵)

下段左：国道58号名護東道路久田IC

下段中央：美ら海水族館(国営沖縄記念公園(海洋博公園)：沖縄美ら海水族館所蔵)

下段右：那覇クルーズターミナル

上段左：泊大橋(那覇市歴史博物館所蔵)

上段中央：宣名真トンネル(沖縄建設新聞所蔵)

上段右：交通方法の変更を見守る市民(那覇市歴史博物館所蔵)

下段左：安波ダム

下段中央：那覇空港第二滑走路

下段右：IDB総会の開催